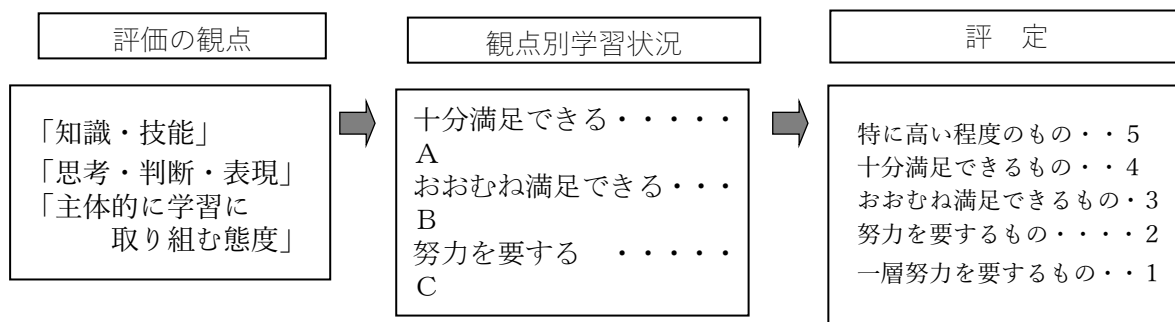


期末テスト2日目終了です。

6月19日(木)

期末テスト2日目が終わりました。明日を残すのみで本日の午後も時間を有効に使い、最終日のテストの準備をしっかりと行ってください。夏休みまで1か月余りとなりました。楽しい充実した夏休みを迎えるためにも最後を良いかたちで締めくくりましょう。期末テストが終わると、先生方は成績処理や通知表の作成を行います。「通知表の評定はどうしてきまるのか？」ということですが、以下のようになっています。通知表の評定は単に定期テストや単元テストの結果だけで決まるものではありません。日々の学習状況やノート・ファイル・作品や提出物なども資料に加えて判断しています。各教科のそれぞれの単元について、目標に照らして観点別に評価したものを、総合的に評価したものが評定です。評価は学習指導要領に示す目標や内容が、どこまで達成されているかを見るもの（＝絶対評価）です。各教科で観点別のねらい（＝評価基準）を設定していて、その基準への到達の度合いを評価しています。生徒ひとりひとりの学習の状況がはっきりわかるようになっています。評価の観点は下の表のように各教科3観点あり、その観点ごとにA・B・Cの3段階で評価します。（＝観点別評価）各教科の評価は、観点別評価をもとにして総括し、5・4・3・2・1で表します。各教科の観点には重みづけはありません。

観点別学習状況と評定の関係



観点別学習状況から評定を算出する方法

A＝5点 B＝3点 C＝1点とし、観点別評価得点の合計を、観点の数（3）で割って評定（5～1）を決定する。

（例）

知識・技能	B
思考・判断・表現	C
主体的に学習に取り組む態度	B

この場合、知識・技能は3点、思考・判断・表現は1点、主体的に学習に取り組む態度は3点であるから、3観点の合計7点÷3＝2.33…点から、評定は2となる。 ※割り切れない場合は四捨五入する

※ 評価・評定の出し方など詳細は、各教科担当が授業等でも伝えています。